

競技・審判上の注意事項

- 1 A . この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定並び、公認審判員規定により行います。
今大会の大会運営規則
 - ア) ポイントは、全試合15点(最大21点) 2ゲーム先取の3ゲームで行う
 - イ) ゲーム中(8点)のインターバルは、行いません。
 - ウ) ゲーム間のインターバルは、120秒以内とする
 - エ) 選手は、サーブの高さで確認用に
上衣前面、115cmの所に目印を付けて参加してください。
- B 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。
コートサイドには各自持参のカバンを使用してください。
- C **今大会は練習時間は設けておりません**
各試合で、主審が準備出来るまでの時間は対戦相手との練習は可とします
- D 試合の線審は、敗者審判で行います
初回戦の線審は同一チームより1名ずつ出してください。
2回戦以降の線審は敗者と勝者(チーム内で変更可)共に、ご協力ください。
準決勝以降の試合については、審判員の大人で行います
- E 試合が連続する場合、前試合終了後10分間をあける
- 2 A 主審は、放送で案内されたら、審判用紙等を受け取り、担当コートへ行き、準備(開始時間の記入など)をしてください。
- B 主審は、試合を行う選手の確認は、背面のゼッケンの
氏名・所属チーム名を必ず実施して下さい。
文字の大きさを6cm~10cmの高さで確認してください。
- C 主審は、その試合の線審のイスを確認し、正しい位置での指導を行って下さい。
- D 主審が「20秒」とコールしたら監督・コーチはコートを離れ、選手はコートに入る事
- E 主審は、試合が終了したら、主審が勝者名を記入して勝者に確認してもらおう
- F 今大会は選手及び主審は、試合開始時、終了時に握手をしないで下さい。
- 3 A **監督・コーチについて**
 - ① (公財)日本バドミントン協会へ登録済みの者で、愛知県小学生バドミントン連盟へ、事前に加盟団体より指導者登録をした者とする。
 - ② アリーナ内では、指導者カード(吊り下げ名札)を必ず使用してください。
 - ③ コーチ席は1席とする。
 - ④ 誰がどの選手のコーチであるかの限定はしない。
 - ⑤ **公認審判員資格を有す**
- B **監督・コーチも大会にふさわしい服装で室内用シューズを着用のこと。**
※ビーチスタイル、パミュダ、ジーンズ、裸足、サンダル等の禁止
- C 競技場内への**携帯電話又はタブレット端末の持込禁止**。持ち込む場合は、電源を切るか、マナーモードにする事。(競技場内では使用しない)
- 4 A **表彰は3位まで表彰状を授与する**
- 5 A **ア** 競技中の怪我等の応急処置は主催者が行うが、それ以降の処置については1日スポーツ障害保険の規定範囲内での措置とし、以降の責任は負わない。
イ 選手の更衣は、更衣室で行うようにする。但し荷物は置かない。
ウ 体育館使用については、体育館利用規定に基づき、引率者は、体育館内の選手・同行者の行動について十分注意し、指導・監督をすること。
エ 競技場以外での事故については、主催者側は責任を負わない。
オ 体育館内では、体育館専用の運動靴を着用のこと。
カ 観客席に、忘れ物の無いようにお願いします。
キ ゴミ等は、必ず各自で持ち帰ること。